

令和5年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 南丘 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和5年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動と一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上にかかる施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

〔8種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は単学級ですので、個人が特定されることがないよう、公表の方法について配慮しています。

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市の実技調査の結果

<男子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
本市	16.30	19.17	34.49	40.75	49.29	9.48	152.47	21.39	53.38

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28
本市	16.35	18.36	38.88	38.78	39.26	9.70	145.97	13.51	55.18

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
本校の児童は、「運動は大切であり、体育の授業は楽しい」と回答する児童が100%であった。また、「運動が好き」という肯定的な回答をした児童が92%と多いことが分かった。その中には、「中学校に行っても授業以外に自主的に運動したいと思わない」という児童が数名いた。しかし、その児童達も気軽に運動ができる場所があったり、自分のペースで行うことができたりすれば、運動をしたくなると感じている。これらのことから運動することへの意欲が高く、その大切さも理解していると考えられる。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

本校の児童は男女共に、全国、市の平均をわずかに上回っている結果となった。中でも、男女共に20mシャトルランとソフトボール投げに関しては全国平均を大きく上回っていた。これらについては持久力や体全体を使った運動能力の向上がみられる。変わって平均を下回ったのが、男子で上体起こし、女子で長座体前屈と握力である。これらの結果から、日頃の授業において準備体操と柔軟運動の意義や必要性を伝え、十分な運動量の確保と場の設定を意識して全校で取り組む必要がある。
--

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

委員会活動を中心とした体力アップ週間や一校一取組において、「ランランタイム」を実践している。走ることやなわとびチャレンジによる跳ぶ回数、難しい技への挑戦を通して、運動に親しみながら体を動かす活動に全校で取り組めていることは、運動が好きな児童が多いという成果である。今後は上体起こしや長座体前屈など柔軟性を高める運動や握力強化のための手の運動を取り入れたゲームやウォーミングアップの活動を通して、体力・運動能力を高めていきたい。
